

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和元年度第1回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和元年5月17日（金）午後1時30分～午後3時30分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：椎木 俊秀、小林 冬子、大沼 眞弓、柳 清美、須永 美智子、岩瀬 香世、押田 友紀子、佐藤 達也、名取 浩美、高橋 毅、佐々木 久子、鮫嶋 由美子、茂木 正義、富田 眞貴子、榎本 勝、諏訪 潤 欠席者：宮澤 ひとみ、陰山 行弘、千田 祐子、山本 頼子、来栖 眞理子 事務局：登坂部長、阿部課長、奥泉係長、比留間主事、樋口主事
議 題	1 委嘱書交付 2 報告事項 （1）平成30年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について （2）平成30年度武蔵村山市障害者就労施設等からの物品等の調達方針の実績報告について （3）各専門部会からの報告 （4）その他 3 議題 （1）武蔵村山市地域生活支援拠点等検討会構成員について （2）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について：地域生活支援拠点等検討会を立ち上げ、協議を進めることとする。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	2 報告事項 （1）平成30年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について ■事前に会議録を配布させていただいている。現時点では修正等の意見はない。修正等の意見がある場合は、今月末までに意見をいただきたい。 （2）平成30年度武蔵村山市障害者就労施設等からの物品等の調達方針の実績報告について ■（配布資料に基づき説明） （3）各専門部会からの報告 （訪問系サービス事業者部会から報告）

■訪問系サービス事業者部会の委員が欠席のため、事務局から報告する。
移動支援ガイドブックについて話し合い、今まで部会で出た意見等を集約し、ガイドブックを完成とする。
今年度の取組として、事例検討、情報交換、研修会などを行っていく予定である。

(日中活動系サービス事業者部会から報告)

○2月と4月に部会を開催した。
2月の部会では研修会と来年度の部会の取組について話し合った。情報交換も行い、令和元年度の東京都サービス事業費予算についての情報も出た。
4月の部会では、今年度の取組として事業所見学会を予定しており、5月からの開催を予定している。
また、研修会については7月から10月の間に虐待防止をテーマに開催を検討している。

○研修会には日中活動系サービス事業所以外でも参加できるのか。

○開催時間や回数、会場の都合もあるため、部会で協議をしてから、回答する。

○虐待に関しては、全ての事業所にも関わるものなので検討していただきたい。

(居住系サービス事業者部会から報告)

○PRボードについて協議を続けている。おおまかには出来ており、5月もしくは6月中には完成させたいと思う。以前の提示した文章と各事業所のパンフレットでのPRボードではなく、武蔵村山市の地図を用い、どの地区にどの事業所があるのかと言った視覚的にも分かりやすい形にしている。

○今後、事業所が増えることも想定されるが、どういう対応をするのか。

○それについては部会でも課題として挙がっており、協議を続けている。ボードに作成年月日を入れ、その都度、更新をし、いつ時点のものか分かるようにするという意見も出ている。

■設置場所は市民総合センターの障害福祉課の窓口の近くを想定している。

●ボードに載せる各事業所の情報はそれぞれの事業所が用意するのか。

○今回については、居住系サービス事業者部会で用意する。

○市民総合センターの障害福祉課の窓口近くに設置すると伺ったが、市役所等のより人目に触れる場所でも良いと考えている。

○そういった意見もあるのは把握している。しかし、障害福祉に関するも

のということで、障害福祉の窓口の近くに設置で動いている。

(相談支援サービス事業者部会から報告)

○令和元年からは毎月ごとの開催になる。各事業所の報告と事例検討を引続き行う。

(放課後等デイサービス事業者部会から報告)

○平成31年3月に開催された。4月から開所予定の障害児通所事業所があり、挨拶に来られた。

また、1月に行われた虐待防止学習会の内容の振り返りを行った。参加者は65名で、アンケートも多く回答をいただいた。

今年度については、昨年度に続き、学習会の開催を予定しており、「救命講習」をテーマにしている。

その後の情報交換では、外国人の利用者との言語の問題などが話題になった。

(障害者のくらしを考える部会から報告)

○今年度については、これまでと同様に防災をテーマに開催予定である。ヘルプバンドナ等を中心に話し合っていく。

また、これまでは会の司会進行を部会長が行っていたが、部会長を立てず、委員の持ち回りで司会と書記を立て、開催することになった。

■今後の自立支援協議会の報告はどなたが行うのか。

○部会長以外の出席者がいるため、その委員が報告することになる。

○ヘルプバンドナは来年度、作っていただけるのか。

■今年度の予算においては認められなかった。引続き、来年度予算で要求する。

(障害者のはたらくを考える部会から報告)

○平成31年3月に開催し、来年度の取組について話し合った。活動内容としては、講座、会社見学会、実習を予定している。講座は身だしなみに関する講座を検討していたが、諸々の事情により、前年度の同様の就労準備講座を行うことになった。会社見学会は「天乃屋」の見学を予定している。実習については、サンシャインホームで体制を調整中であり、冬季開催になると思われる。

(4) その他

■10月からの消費税増税に伴い、幼児教育・保育無償化が行われる。障害児の通所給付費も合わせて無償化される。具体的には就学前の障害児が対象であり、サービスは児童発達支援、医療型児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援、福祉型障害児施設入所、医療型障害児施設入所の利用者負担が無償化される。償還払いではなく、現物給付であ

る。

●市内に対象となるサービスを提供している事業所はあるのか。

■2事業所が児童発達支援を提供している。子ども育成課のちいろば教室も法内移行を進めている。

●無償化も10月から行われるのか。

■10月利用分から適用される。

●他に報告事項はあるか。

■ヘルプバンドナについては、障害者の暮らしを考える部会で報告させていただいたとおりであるが、代わりとして、ヘルプマークを障害福祉課で配布している。

3 議題

(1) 武蔵村山市地域生活支援拠点等検討会構成員について

○資料によると相談、緊急時の受入・対応、体験の機会・場の提供と言った機能について協議を進めていくように思われるが、その他の機能はどうなるのか。

■国の見解として、全ての機能を備えてある必要はないとしている。また、その機能をどういった事業所が担っていくのかなども検討会の中で協議を進めていく予定であり、今回、示させていただいた資料には載せていない。

○構成員の中に、事業を休止しているため、事業者部会に参加できていない事業所もあるが、今後は参加可能なのか。

■その事業所においては、既に事業を再開しており、参加を働きかけており、検討すると返事を伺っている。

●地域生活支援拠点等と基幹相談支援センターとの関わりはどうなるのか。

■介護保険では日常生活圏域ごとに地域生活支援センターを設置している。市内には4つの地域包括支援センターがあり、その内の1つを機能強化型地域包括支援センターとし、他のセンターと比べ、格上げをしている。障害福祉では現在、そういった動きはない。この検討会の中で、働きかけをしていきたいと考えている。

○拠点の機能において、地域の体制づくりというものがあるが、障害福祉の分野でも日常生活圏域ごとに地域を分け、支援を行っていく介護保険のような仕組みを作ったりするのか。

■障害福祉では圏域ごとに地域を分けるといったことは行われていない。しかし、拠点の整備が進められている理由として、地域で包括的に支援を

行えるようにすることがあげられている。検討会の中で協議を進めていきたい。

●緊急時の受入についてであるが、資料であげられている事業所では知的障害者と精神障害者には対応が可能であると思われるが、身体障害者についてはどうなるのか。

■市内の社会資源の状況を踏まえ、資料では挙げていない。検討会の中で、協議を重ね、社会資源の開発を進めていきたい。

○緊急時の受入等で短期入所を行った場合、報酬等はどうなるのか。

■平成30年度の障害福祉サービス等報酬改定で示されている加算等で対応を考えている。

○身体障害者の緊急短期入所を東京小児療育病院では受けることは出来ないのか。

○東京小児療育病院では重症心身障害児・者を対象としているため、移動等が出来る方に関しては、安全管理上、受入が困難である。

○身体障害者福祉センターは身体障害者の短期入所を受け入れているのではないか。

■身体障害者福祉センターは障害者総合支援法とは別の東京都認定短期入所という制度を用いて、事業を行っている。

○拠点を整備するにあたり、人員の確保等を行った場合、財政的な支援はあるのか。

■加配人員等に対して、どういった支援を行っていくかについては、市においても協議を進めていく。

●他に意見がないようであれば、資料で挙げられている構成員で協議を進めていくことで異論ないか。

○異議なし。

●承認とする。

(2) その他

■医療的ケア児の協議の場を設けることとされているが、協議の場をどのように作りこんでいくのか、自立支援協議会でも皆様に意見を伺う事があると思われる。協力をお願いしたい。

●専門部会の再編成の検討会についてはどういう予定で進めるのか。

■次回の自立支援協議会で議題としてあげていきたいと思っている。医療的ケア児の協議も含めて検討していきたい。

